

## 令和7年度第2回 学校運営協議会 議事録

校名	府立思齊支援学校
校長名	井上昌二

開催日時	令和7年11月26日(水) 10:00~11:00
開催場所	府立思齊支援学校 3階 学習室
出席者(委員)	原会長(今市中学校長)、狭間副会長(太子橋今市小学校長)、山中委員(豊里学園長)、三木委員(旭区障がい者基幹相談支援センター管理者)、中委員(PTA役員)
出席者(学校)	井上校長、上野事務長、掛田教頭、野村教頭、酒井友行首席、水江首席、大場首席、酒井康次首席兼高等部主事、正木小学部主事、
傍聴者	0名
協議資料	令和7年度 学校経営計画及び学校評価(進捗状況)

議題等(次第順)
1 校長あいさつ
2 議案
(1)令和7年度 学校経営計画 進捗状況について (2)その他 ・学校運営協議会への意見書について
3 事務連絡
協議内容・承認事項等(意見の概要)
2 (1)令和7年度学校経営計画について(進捗状況報告) 井上校長より説明 1.児童生徒が安心安全な学校生活を送ることができるよう体制を整える。 (1)人権について 予定通り3回の研修予定している。 個人情報に関する事案が1件あり、紛失事案として教育庁に報告した。 (2)火災、水害、地震 計3回予定。 不審者侵入を想定した訓練では、警察管が犯人役となり、リアルな訓練となった。 地域連携防災訓練は12月に合同訓練を実施する予定で、避難所の開設までを地域の方々と一緒にを行う計画である。 保護者等への引き渡し訓練も実施した。引き渡すことよりも学校で滞在する方が安全という考え方もある。 (3)児童生徒の食物アレルギー事案0件 2.児童生徒及び保護者のニーズに応じた教育活動が展開できるよう、教職員の専門性を高め、資質の向上を図る。 (1)ドライブの活用を推進している。 (2)自活主任を中心とした校内支援チームを立ち上げ、担任だけでは難しいところに入り込み、取り組みを進めている。 「あしたのために」「きのうのために」の先生の参加率も高く、充実して実施できている。 3.センター的機能、地域連携 (1)公開講座2講座実施。

地域支援へのアンケートを2月に実施予定である。

(2)交流については、小学部は全学年で実施予定で、既に終わっているものもある。

(3)北東ブロックの研修会、好評をもらっている。2回めも実施予定である。

PDFで資料を添付してメール配信を行った。

#### 4. 小学部・中学部・高等部の継続性のある系統的なキャリア教育を実践する。

(1)区役所への自転車整備・清掃を実施している。

進路学習会を中学部、高等部の生徒に実施。

中学部は、お金についての学習を行う予定である。

高等部は、卒業生からの進路講話を実施した。

(2)学部間の交流、順次実施している。

芸術鑑賞会2月に実施予定である。

(3)職業コースの見直し、PTを立ち上げ改定に向けて会議を実施している。次年度に向けての方向性を考えている。

#### 5. 学校教育活動全般及び学校経営・運営の全般において、ICTの積極的・効果的な活用を推進する。

(1)生徒がブログを20件上げている。

(2)ニーズに応じた教員研修6件実施している。

(3)リテラシー研修をオンラインで実施した。

(4)業務改善、新システムと旧システムの併用。

旧システムと新システムの両者のよい面を活用して、今後よりよい活用方法を探っている。

水曜日は定時退庁としている。府立校の中では、残業は少ない部類に入っている。

学校経営計画について、計画通りに進んでおり、遅れているものもないと認識している。

#### 【質疑応答】

委員)

・個人情報紛失の1件について。ないようにと思いながら出てしまうと思うが、今回のものはどういった内容の事案だったのか。

・アレルギー0件はすごいなと思った。

・研究授業について、周知をして後から見られるようになっている。校種が違えば、支援学校の場合の研究のテーマはどうなっている。

事務局)

・書類の紛失。前籍校からの書類を懇談で返却するはずだったが、担任から保護者へ返却するという流れを確認できていなかった。担任が保管する際に所定の個人情報保管庫に保管せず、結局見つかっていない。本人、保護者への謝罪と教育庁への報告を行った。

事務局)

・府教育センターが提案している研究テーマに沿って、初任研、インターミディエート研、10年研受講者が実施している。

委員)

・研究主任がいるのか。討議会などどうしているか。

事務局)

・討議会は研究部が担当している。

委員)

- ・経験の浅い教員に研修をされているが、内容はどんなものなのか。

事務局)

- ・「あしたのために」は自立活動的な内容を中心に、「きのうのために」は座談会的に困りごとや悩みごとの相談等を実施している。

委員)

- ・頻度はどれくらいなのか。月1回程度なのか。

事務局)

- ・長期休業等で月によっては2回実施の月もあるが基本的には月1回程度の実施をしている。

委員)

- ・学校間交流について、本校もお世話になっている。継続的にしているので、本校の児童も交流を受け入れている。今後もしていけば。

事務局)

- ・感想を聞くと、児童がたくさん意見を言ってくれた。すごく良い機会となった。

委員)

- ・大規模災害について、いつどこで起こってもおかしくない。学園は防災センターにも行った。大学の講師の方にも来ていただいた。日頃にどう生かせるか。地域連携に学園も参加させていただきたい。

事務局)

- ・思斎支援学校が16町会の避難所となっているため、町会による避難所開設をメインにしている。当日、学園職員も参加してください。

委員)

- ・学園の子どもたちも体験することで災害の怖さを意識できるかと思う。学校の校外学習でもぜひ防災センターを検討していただけたらよいと思う。

- ・ヒヤリハットの特徴的な内容はどのようなことか。

事務局)

- ・教室での内容が多い。不安定な状態で椅子に座っていたり、清掃時に洗剤を置きっぱなしにしていたりなどが報告されている。

委員)

- ・授業のドライブの保存期間について、どの程度データは保存しているのか。

事務局)

- ・データ保管を始めて今年で3年めである。

委員)

- ・学校との連携、近隣私立校との連携は何かされておられることがあるか。

事務局)

- ・大学は介護等体験で関わりがあるが、近隣私立校は現状ではない。

委員)

- ・ヒヤリハット数が上がったのは意識が高まったんだと思う。教員間の意識の偏りがあるのではないかと思うが、内訳など詳細はどうか。また、事故数はどの程度か。

事務局)

- ・内訳について、今は詳細がないので次回にお示します。ヒヤリハットの収集方法としては、QRコードで入

- 力し、サイネージで報告しており、教員間の声かけも増えている。
- 事務局)
- ・事故件数は、けがで病院へ行った等、10件程度で詳細は各学部で報告をしている。
- 委員)
- ・心理的な安定の面でスクールカウンセラーの配置についてはどうなっているか。大阪市では子、保護者が面談できる環境があるが、思斎支援学校はどうか。
- 事務局)
- ・大阪府としてスクールカウンセラーの設置や巡回はない。高等学校や高等支援学校には配置がされており、利用する場合は支援学校から要請をしてカウンセラーに来てもらうことになる。
- 委員)
- ・子どもサポートネットについて。区役所のSSWに支援が必要な子を見つけてもらって、福祉に繋げていく。学校で子どもの異変を見つけて、福祉につなげてほしいが、府立の支援学校ではどんな体制があるのか。
- 事務局)
- ・その部分は課題ではあると感じているが、今は担任が気づいた事については、首席を通じてすぐに福祉に繋げられるようにしている。
- 委員)
- ・PTAとして一番関わるのはメール。ほぼほぼ登録できているという現状だが、保護者間での予定見た？プリント見た？などの声を聞く。登録率と利用率の差があるかもと感じている。見ている人は見ていると思うが、見てもらうための工夫が何かあればいいのではと思う。
- 事務局)
- ・確かにメールが来ても添付資料を開かないといけないのは不便だと思う。もう少し見てもらえるような工夫を考えていければと思う。
- 委員)
- ・高等部の職業コースについて。中学部卒業後の進路、他の高等支援を考えているという声も聞く。思斎支援学校の高等部が進路先として選ばれるような魅力があればいいと思う。
- 事務局)
- ・本人、保護者が色々な進学先を考えられているというのは感じている。たくさんの進路先があるのは良いことだとは思う一方で、現在考えている職業コースも含め、思斎支援学校の魅力を生徒、保護者に伝えたい。
- 委員)
- ・目標の3本柱について
  - ・いじめ問題が経営計画の中になかったと思うが、いじめについて取り組まれていることがあれば教えてほしい。
- 事務局)
- ・児童生徒の保護者に年三回アンケートを取って、一件一件聞き取りを行って、いじめを認定するかどうかまでを校長も入った委員会の中でガイドラインに沿って検討を行っている。
- 委員)
- ・学力体力について、体力の向上の視点があるのかないのか。
- 事務局)
- ・体力については、教育目標の中に入っており、カリキュラムに含まれている。
- 事務局)

・小学部では、日常の活動の中でたくさん工夫して体力向上について取り組んでいる。

委員)

・働き方改革について、全国的に教員の受験者数が少なく、やりがいは感じているがブラックというイメージを持たれている。思斎支援学校の働き方改革について、工夫があれば教えてほしい。

事務局)

・チャット等のICTの活用で、伝えないといけないことや会議の設定等、スムーズに行えている。そのおかげで退勤時間等早くなっているかと感じている。

委員)

・メールについて。発信する側は送れば見てもらえてるものだと思っていたが、実際のところ、不便があるのか。

委員)

・通知が来ても、PDFのリンクを開かないといけない。PTAからは他のアプリの方が見やすいとの意見もある。メールが来てても、スルーしてしまう傾向にある。

令和7年度学校経営計画について(進捗状況)、全委員の拍手で承認を受ける。

## (2)その他

・学校運営協議会への意見書について

意見書の提出はなし。

### 次回の会議日程

日 時	令和8年2月13日(金) 作品展
会 場	府立思斎支援学校 学習室3